

# みやまの風



令和5年12月1日(金)発行

園長 津田 将美

幼稚園HPのQRコードです！

## 10の姿



「あ～、見て！玉ねぎが昨日より伸びているみたい！！」  
朝の登園時の園バスで、畑の横を通り過ぎた時に、一人の子が大きな声を出しました。前日に植えたばかりの玉ねぎが元気であるか気になっていたようです。大人には、はっきりわからない玉ねぎの小さな変化も、素直な子どもたちの目には、その変化がわかったのかもしれませんが。

自分たちがお世話を始めた作物を気にかける気持ちが、嬉しかったです。

幼稚園教育要領の中には、「幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿」が明記されています。幼稚園では、各学年の3月までに育てたい姿を見据えながら、小学校そして中学校へ続く学びに主体的に向き合うことのできる力をつけています。今までの活動をその10の姿に当てはめて振り返りました。

- 「健康な心と体」 → 早寝早起き、日々の遊び、楽しみな給食、運動会
- 「自立心」 → 助けすぎない支援、友だちとの関わり、自我の芽生え
- 「協同性」 → 仲間と創り上げる喜び、思いやり、励まし合い、関わり合い
- 「道徳性・規範意識の芽生え」  
→ 友達の気持ちを考える、みんなでルールづくり、折り合いをつける
- 「社会生活との関わり」  
→ お買い物ごっこ、お店屋さんごっこ、外部からのお客さんとの交流
- 「思考力の芽生え」 → 没頭体験、試行錯誤の繰り返し、失敗を生かす
- 「自然との関わり・生命尊重」 → 生き物の世話、栽培活動、収穫の喜び
- 「数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚」  
→ おいもの長さ・重さ、看板づくり、折り紙遊び、形遊び
- 「言葉による伝え合い」 → 仲間と考え創造する行事、日々の遊びの中から
- 「豊かな感性と表現」 → やりきった充実感・達成感、読み聞かせ、帰りの会

「10の姿」は、小学校における各教科の到達目標のようなものではなく、植物が根っこから吸い上げる栄養のようなものです。これらは、個別に発達するのではなく、相互に関連し合って積み重ねられていくものだと幼稚園教育要領には示されています。

その核となるものが「遊び」です。

2学期もたくさん遊び、貴重な体験を積み重ねてきました。そのひとつひとつが子どもたちの力になっていると感じます。

いよいよ12月を迎えます。笑顔と共にたくさんの栄養を更に蓄えることのできる12月にしていきたいと思えます。

